

離農農家の施設を補改修して新規就農者に継承し、地域の生乳生産基盤を強化

(北海道)

- ・公社が取得した離農農家の施設を補改修して新規就農者に継承(一定期間リースしたのちに譲渡)し、離農農家と新規就農者の円滑な経営移譲を推進。
- ・費用負担の軽減、地域関係者の指導により、新規就農者の経営安定化を図り、地域の生乳生産基盤を強化。

現状と課題

離農による生産基盤の弱体化

- 高齢化、後継者不在及び労働力不足等の理由による離農が発生。
- 離農による生乳生産の減少を既存農家の規模拡大や1頭当たり乳量の増加の取組等でカバー。
- 地域経済・社会の衰退。
- 新規就農者の育成・確保。

施設整備事業の活用

離農施設を補改修して新規就農者へ継承(リース)



課題① 生乳生産基盤の弱体化

- 離農により、遊休農地・遊休施設が増加。

課題② 規模拡大の限界

- 個別経営体の規模拡大には限界があり、生乳生産量の増産が困難。

効果① 新規就農者の確保

- 新規就農者は**離農施設を継承(リース)**することで、**就農初期の費用負担を軽減**。

効果② 生乳生産量の維持・拡大

- 新規就農により地域の**生乳生産量を維持・拡大**

今後の展望

生産基盤の強化

展望

- **新規就農者の経営発展による、生乳生産基盤の強化**。
- 定着した新規就農者が公社等と連携して就農体験等の広報活動を行い、**更なる新規就農を促進**。
- **地域経済・社会の活性化**に貢献。